

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年4月1日発行 通巻252(毎月1回発行)

楽しい山行を

つらい山行にしないで！

4月号 目次

・目次	2
・花博士の花便り	3
・新年度のご挨拶	4
・第1回県連理事会報告	5
・房総ロングハイク報告	7
・県連クリーンハイク案内	9
・自然保護リレーエッセイ	10
・足尾植樹祭案内	11
・会山行報告	12
・第10号「ゆう」たより	14
・おすすめの本	16
・3月県連便り	17
・3月・4月予定表	18

表紙説明

震災から3年、被災地ではワカメの収穫が始まった。ワカメの収穫時期はわずか3か月間、かつては大勢の人で賑わった浜も震災後は寂しさを感じる。

3月15日・16日、牡鹿半島給分浜に、「ちば労山ゆう」30名、埼玉県連28名が支援に入った。人手不足の漁師さんに、大変歓迎された。

4月、5月と支援活動が予定されている。取り立てのワカメは素晴らしいです。

花博士の花便り

2014年4月

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

寒かったこの冬も、三月に入りやっと春の気配が感じられます。花好きの私には、これからが楽しみの季節です。

3月18日に白子のカワズザクラを見に行きました。桜祭りも終了でしたが、満開を少し過ぎた処で最高に綺麗でした。他にこの時期に咲いている花を探しました、ツバキが満開でコブシの花が咲き始めました、ボケ（木瓜）のピンクの花やサンシュウユは、ミズキ科の黄色い花、ネコヤナギの綿毛の花、庭では、ラッパスイセン、野では、キブシの花穂が段々大きく成って来ました。キブシは、雌雄異株で穂の長い方が雄株です。さらに穂が長く大きいのは、房総に多いハチジョウキブシです。トサミズキの花も咲いています。同じ仲間のヒュウガミズキ（日向水木）は、まだ蕾でした。トサミズキ（土佐水木）マンサク科・トサミズキ属は、高地県で自生し葉が5月に咲くミズキに似ているのでなづけられました。毎日歩くたびに新しい花の発見があり楽しみです。

今月の巨木 市原市 奈良本泉寺のスタジイの巨木群

市原に奈良の大仏が有るのを知っていますか。大仏と言うほど大きく有りません（等身大）が、長柄から市原を結ぶ大仏通りの地名の奈良に有ります。その入口に本泉寺があり、50mほどの間に目通り5m以上のスタジイが6本並んでいます。一番大きな木は7m近くあり凄い風格です。



サンシュウユ



キブシ



トサミズキ



今月の巨木
スタジイ

ご挨拶

理事長 吉田 哲治

この度、先の総会において引き続き理事長の大任を仰せつかることになりました吉田です。よろしくお願い申し上げます。

総会において提案がありましたように、千葉県連は3年後には創立して50年の大きな節目を迎えます。役員としての向こう2年間は、この半世紀の歴史を、先輩諸氏が築き上げてきた県連の歩みを、確かな歴史の1ページとして記録していく大事な準備期間だと考えてます。微力ながらもそのお手伝いできればと思っています。

NPO ちば労山ゆうの支援活動も継続していきますが、今後は、山岳団体としての本来の活動に重点的に取り組んでいきたいと思っています。ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

今年度もよろしくお願いします

会長 広木 国昭

3月2日の千葉県連定時総会において、引き続き県連会長に選出されました。各会・会員の皆様には、一層のご協力をお願いします。

この場をおかりして、今年度の重点活動を紹介させていただきます。

- ・ 組織強化の取り組みを進めよう。

千葉県連の会員数は、この5年間710名から780名を維持しています。全国的に会員減少が深刻な状況が続いている中で、現状維持は各会の頑張りの成果です。新年度も、新しい仲間を迎える活動に取り組んで行きたい。

- ・ 山での事故を0にしよう。

千葉県連の事故は、12年度10件・13年度9件が報告された。圧倒的に転倒事故が多く、そのほとんどは40歳後半～70歳前半である。

千葉県連の年代構成が反映された事故といえる。

早急に、各会・クラブと県連盟が協力して対策を検討し事故防止に取り組まなければならない。

- ・ 千葉県連創立50周年記念行事を成功させよう。

実行委員会への参加をお願いします。各会・クラブの創意を持ちより全会員が楽しめる記念行事としたい。

2014 年度第 1 回理事会報告

報告者 吉田 理事長

■開催日時:2014 年 3 月 20 日(木)19:10～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山の会、茂原道標山の会、船橋勤労者山の会、松戸山の会、東葛山の会、山の会らんとん、、千葉民医連山を歩こう会、かがりび山の会、岳人あびこ、ふわくハイキングサークル、市川山の会、シリウス山の会、(出席会 12・欠席会 7)

自然保護委員長、教育遭難対策委員長、救助隊、会長、理事長、副理事長、会計(松戸山翠会理事兼任)(役員出席 7名) 以上 19 名

■配布資料

- ・ 千葉県勤労者山岳連盟 役員会・理事名簿
- ・ 県連統一クリーンハイク案内
- ・ 労山全国連盟メールニュース(抜粋)
- ・ 204 年度・2015 年度の活動について

1. 委員会・救助隊報告

＊教育遭難対策委員会(岡田)

- ・4 月 5 日(土)の雪上技術講習会 参加 50 名予定
- ・県連内事故報告なし
- ・全国では死亡事故引続き発生、安全対策の総点検を！(全国メールニュース)

＊ハイキング委員会(中原)

- ・17 回ウィークデー山行 6 月 5 日(木)場所:湯の丸山 バス 2 台 50 名募集

＊自然保護委員会(菅井)

- ・統一クリーンハイクを 5 月 11 日(日)実施予定 場所:房総・高宕山
- ・4 月 26、27 日 足尾植樹祭

＊女性委員会(広木)

- ・毎月第一月曜日委員会 ワンコイン講習有り

＊救助隊(関口)

- ・4/5 の雪上技術講習会 午後は救助隊によるシート梱包・搬出等の予定だが、ロープワークを基本に行う。

2. 災害支援報告(吉田)

- ・3 月 15～16(日) 牡鹿給分浜 わかめ収穫の手伝い
ちば労山ゆう 30 名 埼玉県連 28 名 参加
- ・4 月は 11 日夜～13 日(日)作業は 3 月と同内容 マイクロバスが出る予定
- ・4 月 24 日(木)NPO ちば労山ゆう定期総会 船橋西部公民館にて 19 時より

3. 定期総会の反省・感想

総会の反省・感想をそれぞれに伺った。次回への参考とする(詳細は割愛)。

4. 担当理事の役割分担

- ・理事は委員会活動に担当理事として参加することを求められていることから、担当の委員会を確認した。

教育遭難対策委員会(茂原、松戸、こまくさ)、ハイキング委員会(東葛、ふわく、シリウス)、自然保護委員会(船山、かがりび、山翠会)、組織委員会(らんたん、民医連、かがりび、あびこ、ちば山)、海外委員会(岳樺、市川)、未定(君津、岳人倶楽部、遠足クラブ、あじさい、ACT)

5. 50 周年記念行事

- ・「50 周年記念実行委員会」を立ち上げ、総会で提案した具体的な実施事項を検討していく。委員は広く各会より参加を呼びかけ、4 月中をめどに立ち上げたい。

その他

- ・奈良県連より「若草山へのモノレール計画の中止要請」署名願い署名用紙を各会へと配布した。

■今後の理事会日程について

4 月 17 日(木) 場所:西部公民館 時間:19 時より

5 月 22 日(木) 場所:西部公民館 時間:19 時より

*5 月は GW が入ることから、理事会は定例の第 3 週ではなく第4週とします。

以上

千葉県連・50 周年記念行事実行委員会について

千葉県連は、2016 年に創立 50 周年を迎えます。この、大きな節目を全会、全会員の参加で祝いたいと思います。

また、千葉県連の活動・歴史をまとめ、後世に伝えて行く責任を果たしたいと思います。大勢の会員の参加・協力をお願いします。

具体的な実施事項

- ・ 千葉県連理事会に、「50 周年記念実行委員会」を立ち上げる。
- ・ 県連盟の主要な活動を「50 周年のあゆみ」(仮題)にまとめる。
- ・ 千葉県連の自然保護運動を、後世に伝える資料としてまとめる。
- ・ 千葉県の山・沢・について、各会の協力、資料の提供をお願いします。
- ・ 房総の自然の中で、全会の参加で、「記念イベント」実施する。

◆ 実行委員会への参加、資料、アイディアの提供をお願いします。

連絡先：千葉県連ホームページ「事務局への問い合わせ」まで

：千葉県連 会長 広木 国昭

Eメール：danphiro@zpost.plala.zpost.or.jp

第 17 回 県連ウイークデー山行募集 主催 ハイキング委員会

山行日 2014 年 06 月 05 日 (木) 日帰り 雨天決行

行き先 湯の丸高原

テーマ 花見 (れんげつつじ) と歴史探訪

集合場所と時刻 A 車 JR 千葉駅 N T T 前 6 時 15 分集合出発
B 車 鎌ヶ谷市役所 6 : 00 集合出発 = 新松戸 (流経大前)
6 : 30 分集合出発

行 程 中型バス (28 人) 2 台 (関越道 : 高坂 S A 合流)

06 日 千葉発 6 : 15 = 松戸発 6 : 30 = 関越道 = (高坂 S A) = 信越道 = (東部湯の丸 S A) 湯の丸 I C
= 地蔵峠 10:00 着 (準備体操していざ出発)

10:30 出発—10—キャンプ場—20—烏帽子岳分岐 11:00/05—20—ツツジ平 11:25 着

① 花の見頃の場合・・・見学・昼食 13:00 下山—スキー場—地蔵峠 13:30 着 帰路予定

② 花の無い場合・・・11:40 出発—湯の丸山南峰 12:40/45—北峰 12:50/13:20 下山—ツツジ平 14:00/10
—スキー場—地蔵峠 14:40 着予定 帰路

時間によっては旧鹿沢温泉入浴 : 南極越冬隊長であった西堀栄三郎氏が学生時代、仲間と雪山合宿の折に紅葉館でつくった名歌「雪山賛歌」の碑等見学して帰る事も出来る。

当日はれんげつつじの群生を歩く楽しい山行になるといいですね。

●道路状況によりスケジュールや時刻等は変更となる場合があります。

1/25,000 婦恋田代

募集人員 50 名 (千葉発 25 名・鎌ヶ谷発 25 名)

費 用 5,000 円 バス、

持ち物 山行に必要な装備 : コンパス (雨具必須)

申込み〆きり 5 月 26 日 (月) と定員になり次第

尚、バス予約の為早めに申込みお願いします。

申込先 各会で纏めて桑原までお願いします。

県連統一クリーンハイク案内

自然保護委員会

すばらしい山岳自然を残し引き継ぐため、労山は毎年一斉クリーンハイクを行い、山からゴミをなくす取り組みを行ってきました。千葉県連も毎年主に房総半島の山で啓蒙活動も合わせ、クリーンハイクに取り組んで来ました。最近山にはゴミがほとんど見られないほどきれいになってきました。一般のハイカーにも、山でのマナーとしてゴミの持ち帰りがかなり浸透してきたのではないかと思います。これも労山のクリーンハイクの成果ではないかと思えます。山にゴミが1つでもあると、ゴミはゴミを呼ぶとも言われています。ゴミのないきれいな山を保ちたいものです。

房総半島では、5月末になるとヤマビルの活動が活発となり、その時期のクリーンハイクに参加するの尻込みをする人も少なくありませんでした。そこで今年度は、蛭の活動がまだそれほどでもない5月11日(日)趣を少し変え連盟傘下の各会の皆様と親睦交流を重点にのんびりハイキング春の千葉の自然を満喫しながら貴重な交流や親睦もはかれる良い機会ともなるよう計画しました。県連加盟の皆様方多数の参加をお願い致します。

日 程：5月11日(日) 10:00～14:00 小雨決行

場 所：高宕山

集 合：奥畑バス停 9:30

車 での参加の場合 国道410号線 奥畑バス停 駐車可能

電車での参加の場合

千葉駅内房線館山行 6:58－木更津 7:38/8:00－下の台 9:03

---奥畑バス停

コース① 奥畑バス停---八良塚分岐---高宕山---高宕観音(往復)

コース② 奥畑バス停---八良塚分岐---八良塚(往復)---高宕観音

高宕観音で昼食時に親睦を深めたいと思います

持ち物：日帰り山行程度、軍手、昼食、行動食

申込先 各会自然保護委員 自然保護委員はまとめて菅井まで連絡をお願いします

菅井 修 fa23475@wa3.so-net.ne.jp 090-7847-9651

締切日 5月7日(水)

特 記 帰りバス時刻 下の台停留所木更津行バス時刻 14:36

自然保護と一般開放

東葛山の会 栗山 孝市

2014年3月22日に鎌ヶ谷市の自然の森が解放されることになりました。この森は「栗野の森」といいます。これまでは地元の有志により森の手入れを行って来たようです。市も協力してコースを作り柵を設けるなど市も考えていたようです。私もときおり散策をしています。この森は本当にすばらしい森です。3月22日に市が解放すると聞いて、さっそく駆けつけました。

入り口でテープカットを行い、出席者を先頭に集まった市民たちがその後続きます。自然保護を全面に打ち出し、開園時間を午前9時～午後4時までとしています。そしてトイレや休み場所は作らないとしています。そしてコースを設定して、コースから外れないように柵を設けられました。我々が山を歩く時には、登山道以外へは入らないようにしています。しかし、一般の方々の中には、山から何かを持ち去ろうとする者も見受けられます。自然の中を自由に歩きたい我々山家には、残念ですが、柵の中を歩く事には少し引かかる事もあるかと思えます。しかし、行政側としては、柵を作り立ち入る区域を規制することも、この森のすばらしい自然を残しながら一般に開放するためにはやむをえないかと思えます。

以 上

足尾の山に100万本の木を植えよう！

「足尾に緑を育てる会」は、銅山の煙害で荒廃裸地化した足尾の山々に木を植える市民グループです。1996年に活動を開始、今年で19年目を迎えました。

この運動には「栃木県連盟」の仲間が運動の中心として活動しています。私たち「千葉県連盟」も、房総の自然を守る運動に取り組んで来ました。鬼汨山を守る運動では、全国の仲間から多くの励ましと署名が寄せられました。

自然保護運動の原点である、渡良瀬川公害闘争、足尾の山に緑を運動、の現状を見て下さい。そして、自分の手で苗木を一本植えて下さい。

千葉県連は、自然保護委員会を中心に、参加者を募集しています。一泊二日の参加で、作業終了後は、現地でテント泊を予定しています。参加した他県連盟の仲間と一緒に交流会も計画しています。大勢の参加をお願いします。

◆ 問い合わせ先：自然保護委員長 菅井 修 fa23475@wa3.so-net.ne.jp
：千葉県連会長 広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp

第19回

足尾の山に100万本の木を植えよう!

2014年4月 26日(土) 27日(日)

春の植樹デー



かつてない大雪を各地で記録した冬でしたが、みなさん、お元気でしょうか。今年も植樹デーのご案内をいたします。
19回目となる今年の植樹デーは、2012年に実施した戸四郎沢を予定しています。植樹地が年を追うごとに上部へと移っていますので、とくに体調を万全にして参加されるようお願いいたします。もちろん、小さいお子さんや足に自信のない方のために、道路から近い植樹地も確保してありますので、安心してご参加ください。

さて、今年の植樹デーにはたのしい“助っ人”が駆けつけてくれます。

1日目の26日(土)には、沢入国際サーカス学校のみなさんが大道芸ショーを披露してくれます。さらに、育てる会の応援歌「備前橋山」のシンガーソングライター・せきぐちゆきさんのミニコンサートも予定しています。

2日目の27日(日)には、栃木SCのクラブマスコットのトッキーが植樹に参加します。こちらも楽しみです。

また、両日にわたり、間伐材を利用したコースター作りを実施します

今年の植樹デーは、たくさん思い出ができそうです。みなさんの参加をお待ちしています。



せきぐちゆきさん



トッキー

行動スケジュール

●日 時 2014年4月26日(土)・27日(日) ご都合の良い日にご参加ください。

●作 業 午前10時～午後1時 ※雨天決行

●集 合 午前9時30分

銅親水公園 ※駐車場は、昨年と同じ足尾ダムゲートの先です。

- 会員としてご協力いただける方は年会費の納入をお願いします。
- 昼食とき、とん汁の用意があります。できれば「マイはし、マイおわん」をご持参ください。
- わたらせ渓谷鉄道ご利用の場合は、終点間藤駅(8:15着、9:32着)からの送迎をいたします。
- 会場までの道は狭いので、徐行運転にご協力ください。

個人でご用意ください

●飲料水 軍手 雨具 昼食

用意できる人は持参してください

- シャベルなどの用具は育てる会でも用意しますが、数に限りがありますので、用意できる人はご持参ください。
- 荷物は必ずリュックに入れて、両手はフリーの状態でご登り降りしてください。ヘルメットをお持ちの方は着用してください。なお、道路から近い場所もあるので、家族連れの方もぜひご参加ください。
- 苗木を持参される方は、リュックに入る小さなものを用意してください。

●●ドンゲリの里親になってください●●

ドンゲリから芽が出たばかりの(約20cm)苗木をご家庭に持ち帰り育ててくれる里親を募集しています。ご家庭である程度に育て、再び足尾の山に植えてください。両日とも無料配布します。

準備作業の手伝い募集!

- 4月19日(土)、20日(日)に準備作業をします。
- 9:30に大畑沢緑の砂防ゾーン駐車場に集合してください。



交流会

準備の都合がありますので、参加希望者は事前に事務局までご連絡ください。

日 時 4月26日(土) 午後6時より
場 所 足尾町・ラポール
(通洞駅下車徒歩3分)
TEL 0288-93-3580
会 費 3,000円

主 催

特定非営利活動法人(NPO法人)

足尾に緑を育てる会

10
会長: 鈴木 聡

連 絡 先

〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原2-9
TEL 0288-93-2180 FAX 0288-93-2187
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町10-3 随想舎内(石川栄介)
TEL 028-616-6606 FAX 028-616-6608

房総ロングハイキング山行記

吉澤重克（市川山の会）

房総ロングハイキングも今年で 30 回ということを知り、このように長く続いてきたことに驚愕とともに先輩たちのひとかたならぬ努力のたまものと心から敬服します。30 回の記念講演として長く会長をされていた「千葉こまくさハイキングクラブ」の古瀬さんが、房総ロングハイキングのこれまでの歴史について、いろいろのエピソードを交えて話してくれました。私は 2005 年の第 21 回の七里川温泉～石尊山～麻綿原～三石山への新コースから参加していますが、このロングハイイクについてのこれまでの歴史の話は、私には昔のコースは知りませんでしたので、非常に新鮮味を感じ楽しく聞かせてもらいました。

今回のロングハイイクは、25 日の天候は悪くなかったのですが、夜になり小雨模様になり、翌朝 6 時出発予定も、小雨のため 30 分延ばし 6 時 30 分に七里川温泉を出発しました。すでに雨は上がっており、また少し明るくなっていましたので、ヘッドライトも不必要でした。

温泉脇から登り始めましたが、12 の山岳会からの参加者 54 名が一行になって歩く様子は壮観でした。石尊山への登りは雨の影響か少し道がぬかっていたようですが、予定どおり 50 分で山頂に到着し、丹沢大山に向かっている石の祠にお参りして、すぐにここを出発しました。

ここから尾根道が続きますが、曇っているため展望はよくありませんでした。途中筑波山が見えるところがあったのですが、あいにくだめでした。このコースは何回か歩いています。何回来ても房総の自然の森林、特に巨木と、岩から力強く生えている大木には感動します。しかし自然環境は厳しいようで、昨年はなかったと思いますが、台風によるものか大木が根こそぎ倒され、その下を歩くなど珍しい体験をしました。花博士の説明による「カンアオイ」の変った花も見ることができました。言うまでもなく、もう多くの方が友達とも言えるあの「もみ次郎」と「もみ太郎」とも 1 年に 1 回のご対面もしました。どこから来たのかと不思議に思う驚くほどの大岩もあり、長い尾根歩きでしたが、全く飽きることなく歩行時間 3 時間 20 分で 10 時 45 分に麻綿原に着きました。到着約 30 分前に古瀬さんの話に出てきた例の大騒ぎになった 10 年前の遭難事件？の原因となった道間違えの分岐を通ったのですが、初めての人の殆どは、「間違えるのは不思議でない」と話していました。

少し早かったのですが、ここ麻綿原で昼食をとり、約 45 分寺や花木などを観賞した後、11 時 30 分出発し 11 時 45 分新コースの入口であるツクバネガシ入口に到着しました。ここからは昨年からはじめた新コースで今回が 2 回目です。早速十数分で難所が待ち受けており、五十余名が通過するのにかなりの時間を要したが、全員無事通過。ここからのコースは尾根ありトラバースありで、麻綿原までの尾根歩きとは異なって尾根は狭く、また非常に変化に富んだコースでした。東大演習林内ということもあり、手の加えられていない種々の木々が多く、私たちの目を楽しませてくれました。約 1 時間余り歩き、今回の行程中、石尊山に次ぐ二つ目の山、烏帽子山に着きました。残念ながら三角点はなくまた展望も全くききませんでした。それでも山頂直下に少し広い場所（昨年はここで昼食）があり 10 分間の小休憩後 13 時 10 分最後の行程へ歩きはじめました。

途中難所とまではいかないかもしれませんが、ちょっとしたスリルを味わえる狭い岩歩き、木々の根がむき出して小山のようになっている珍しい場所、その昔海だったと想像され、波、または風により浸食されと思われる何層にもなった岩山が見られ、地学などの好きな方には多分興味が尽きないような場所がいくつもあり、新コースの魅力を十分感じさせてくれました。途中硯石を通り、14時35分本沢林道に全員無事到着し、多くの方々が長い行程を歩き切った満足感に浸っているように感じられました。言うまでもなく私も歩き切ったということに大マン族でした。ここから約30分溪谷沿いを歩き、15時、出発の遅れ30分を考慮すると、正に予定どおりの坂本駐車場に到着しました。朝雨模様の空は回復し、気持のよいハイキングでした。その上、七里川温泉のマスターの好意でバスが迎えに来てくれ、これ以上の房総ロングハイキングはありませんでした。関係者の方々に心から感謝いたします。



山行日:2014年2月6日(木)

参加者:CL 大越直樹、SL 大熊輝雄、SL 清水心哉、林里香、渡辺桂子、宮田里江子、宮田昌平、
藤正幸、菊地文子、岩崎よりえ、伊藤當志美、相原明美

費用 : 新松戸一本厚木 990 円 $\times$ 2=1,980 円/バス 本厚木一土山峠 540 円 $\times$ 2=1,080 円
通信費 1,200 円/12=100 円 合計 3,160 円

いざ！初めての丹沢に出発です。2 日前に降った大雪で、目的地に近づくにつれだんだん雪が多くなって来ました。バスを降りてすぐに”アイゼンをつけて”という指示があつて、装着。初めての“軽アイゼン”だった為、ほかのみんなに遅れないよう必死に準備をしました。登山道をすこし入った所で「行き止まり？」と思っていたら「よし、ここから登るよ」と言われ、(これが地図上にない道か！！と内心びびりつつ)目の前の急坂を登りはじめました。

経由地の熊の爪手前で最初の道迷い。今回の山行では、ついていく登山はダメだよ。全員で考えるんだよ。と言われていましたが、地図の見方やコンパスの使い方がまったくわからず、先輩の話を聞いている事しか出来ませんでした。少し進んだ所で、大越さんが”やっぱり地図と違うから戻ろう”とおっしゃりルートを修正する事が出来ました。

長い急坂と雪のコンディションに歩くスピードがかなり遅くなっていました。何とか鍋嵐に到着する事が出来た時には、もうお腹がペコペコで食べ物に飛びつきました。この休憩の時、水筒のお湯を熱くするコツとか、カイロを使って、おにぎりが寒さでがちがちにならない工夫を教えてもらい、大熊さんにおいしいおにぎりをもらったりして一気に元気を取り戻す事が出来ました。

A group of approximately 12 people, including children and adults, are posing for a group photo in a snowy forest. They are dressed in winter gear, including hats, scarves, and jackets. Some individuals are holding trekking poles. In the center of the group, a wooden marker with the number '100' is visible. The ground is covered in snow, and the trees are bare, suggesting a winter setting.

●最後の道迷い、山よりきついバス停までの道

下りの途中で、林業用のフェンス？などで道迷いがありました。なんとか修正しながら、登山道目印の“テープ”が見える度にほっとしました。下山口の到着は 17:00 を過ぎていて、あわや日没寸前でなんとか下山する事が出来ました！さらに下山口からバス停までがかなり遠く「誰か先に行ってバスを止よう！」という役目をもらってしまい、林さんと私でダッシュしたのですが(ここが一番のつらい道のりだったと思いました・笑)やっぱり間に合わずバスを逃してしまいました。

●バスが来るのが 2 時間後！！定休日のお店を開けてもらって反省会

なんと、次のバスが来るのが 2 時間後！！とわかりみんなで途方に暮れていました。バス停横に飲食店があり、ちょっと覗いてみると今日は定休日という事。ここで若手代表の林さんが交渉してくれて、なんと私たちの為にお店をあけてくれる事になったのです！厨房やまきストーブに火を入れて下さり、バスが来るまでの時間あたったかい場所で反省会をする事が出来たのです。おいしいイワナ、お蕎麦、てんぷら、を用意して下さいビールや日本酒も頂いて、バスまでの時間をすごす事が出来ました！！(お店の方に心から感謝)



(写真:左、直前まで泳いでいたイワナを焼いてくれました。右、反省会。お酒がすすみます)

●最後に

道迷いもありましたが、初めての“アイゼン”や雪や鍋嵐山や反省会は全てがとても楽しく、みんなで登りきった一体感や感動がありました。もちろん、無事下山出来たから言える事で、地図読みの大切を痛感した山行となりました。帰りのバスの中では、みんなが疲れて眠ってしまう中、大熊さんが地図読みを教えて下さり、最後の最後まで充実した1日となりました。

その後の例会の時に鍋嵐山行の反省会が行われ、それぞれの意見、反省点がとても参考になりました。私も、もっと勉強して山を楽しめるようにがんばろうと強く思いました。楽しかった事、勉強になった事が盛りだくさんの山行でした！ご指導下さったメンバーの皆さんに心から感謝します。

(記:相原明美)

ゆう便り No.10

長池(ちば山の会)

“ゆう”は厳冬期のお休み期間を終え、東北支援活動を再開しました。春と言うにはまだ早く、いささか、寒い海風が吹き上げる環境でしたが埼玉県連との同時支援(15日のみ)となって、総勢60名弱の力強い支援態勢ができました。

1、日時 2014.3.15(土)～16(日)曇り

2、参加 “ゆう”:30名(一般から8名参加されました)

埼玉県連:28名

3、活動場所 石巻牡鹿半島給分浜

4、宿泊場所 桜畑仮設住宅集会所(埼玉県連は民宿あたご荘)

5、活動内容 ワカメの収穫・切り分け作業

給分浜で、“石森さん”と呼ぶと、浜中のみなさんが“ハイ”と手を上げるほど石森家が多いのです。今日も“石森さんの作業場”を中心にいくつかに分かれて作業にかかります。

ワカメの作業は、

1、船で海上に出て養殖延縄からワカメを切り取って波止場に運ぶ

ーワカメは船上でメカブの部分と本葉の部分に切り分けられるー

2、本葉は、湯通し→冷却→水切→塩揉み→塩漬け→脱水→芯ぬき→製品

の手順になるが、これは漁師さんの本業

※先端の枯れ葉・寄生卵類の切取、茎ワカメの切取などが女性の方々やボランティアの作業

3、メカブの部分は、元根からメカブ枝の切離し→メカブの削ぎ落とし→梱包出荷

※これは女性の方々やボランティアの作業

と、言う訳で、作業場に運ばれたメカブ部分の切離し作業が我々の主なる仕事になるのですが、Wさんは地元の漁師よりも漁師らしい仕事ができるとすっかり見込まれて、船上の“戦場のような”収穫作業にエンジンの轟音とともに海上に飛び出していきました。私は、“漁師らしい仕事”には向いていないのでメカブの切取り作業に取りかかります。

まず、包丁を手に、元根から5～6本生え出しているメカブ枝をバシッと1本ごとに切り分けます。次の作業でメカブを削ぎ落とすのですがその作業に都合が良いように長すぎる茎を切離して籠に入れていきます。次に、U字状のナイフを手に、シュルーっとメカブを削ぎ落とすのですが、これが実に切れ味が良いので、スカーっと爽快な気分を楽しめるのです。ですが、地元の女性の方々の手際がみごとなものですから、のんびりと刃物を動かしているわけにはいきません。シャカシャカと、それはそれはもう、忙しいのです。この他に、屋内での作業になるのですが、塩揉み後の本葉の整形作業にも従事しました。長い本葉の末端は白く枯れた部分があり製品にならないのでこれを切取るとともに、寄生卵のような異物が付着している部分も切り取る作業がありました。

さて、今回は仮設住宅の中の集会場で宿泊することができましたので畳のうえで暖かく眠れましたし、ホヤをいただきましたので生まれて始めて成長したホヤを味わうこともできました。また、一部ではありますが、仮設住宅にお住まいの方とも触れ合うことができたと聞きました。帰りには、作業した養殖の家々から、たくさんのワカメ製品をおみやげにいただき恐縮の至りでした。

ワカメの収穫、出荷作業は2月～4月の3ヶ月ほどの工程になります。4月の支援計画もワカメ作業を対象とすることになるようです。多くの方に来ていただけると嬉しいですね。

編集部より

4月の支援

4月11日夜～13日(日)前夜発1泊2日

＊ マイクロバスが出ますので、会より一人でも気軽に参加してください。

11日(金)新鎌ヶ谷駅 20時30分出発予定です。

参加の連絡は吉田まで tetsu195715@aol.com 090-1406-5008

第2期 「NPO 法人ちば労山ゆう」 通常総会開催のお知らせ

2014年3月31日
理事長 吉田 哲治

日頃より、ちば労山ゆう活動へのご参加・ご協力に感謝いたします。

多くの仲間の声に押されて立ち上げた「ちば労山ゆう」の活動も、2年を経過しようとしています。この間、多くの方に正会員・賛助会員になっていただき、また、支援物資の斡旋・販売には蔭ながら多くの方のご協力をいただいております。出来る限りと被災地・被災者に寄り添う支援活動を継続してこれましたのも、会員諸氏・団体及び善意の多くの個人の方々の熱い想いと支援の賜物だと深く感謝申し上げます。

毎月のように被災地に足を運んで我々が思うところは、復旧・復興への道程はまだまだ遠いものだと感じており、来年度以降も支援活動を継続していく所存であります。NPO 会員のみなさまには、万障繰り合せてご出席いただきますようお願い申し上げます。

記

- 開催日時：4月24日(木) 19:00より
- 開催場所：船橋市西部公民館 第4会議室
- 審議事項：1. 2013年度決算および活動報告
2. 2014年度予算および活動方針

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名: NPO 法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見
問い合わせなどは・広木まで

NPO 法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
- ・入会情報 (3 月末)

正会員数	108 名
賛助会員数	127 名
合計	235 名

常時、会員を募集しています。
入会連絡は、上記アドレスまで！
新年度の NPO「ゆう」支援活動の
お知らせ

 - ・ 4 月 12 日 (土) ・ 13 日 (日)
 - ・ 5 月 17 日 (土) ・ 18 日 (日)

支援物資は常時販売中です。

下記アドレスに連絡を！

支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県連活動予定表

4 月	行事予定	5 月	行事予定
1 火	役員会	1 木	
2 水		2 金	
3 木		3 土	
4 金		4 日	
5 土		5 月	
6 日		6 火	
7 月	女性委員会	7 水	
8 火		8 木	
9 水		9 金	
10 木	自然保護委員会	10 土	
11 金		11 日	県連統一 クリーンハイク
12 土	NPO支援活動	12 月	(終了後 自然保護委員会)
13 日	〃	13 火	役員会
14 月		14 水	
15 火		15 木	
16 水		16 金	
17 木	理事会	17 土	NPO支援活動
18 金		18 日	〃
19 土		19 月	
20 日		20 火	ハイキング委員会
21 月		21 水	
22 火		22 木	理事会
23 水		23 金	
24 木	NPO総会 船橋市西部公民館	24 土	
25 金		25 日	
26 土	足尾植樹祭	26 月	遭対委員会・NPO役員会
27 日	〃	27 火	
28 月	遭対委員会・NPO役員会	28 水	
29 火		29 木	
30 水		30 金	
		31 土	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所には常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ